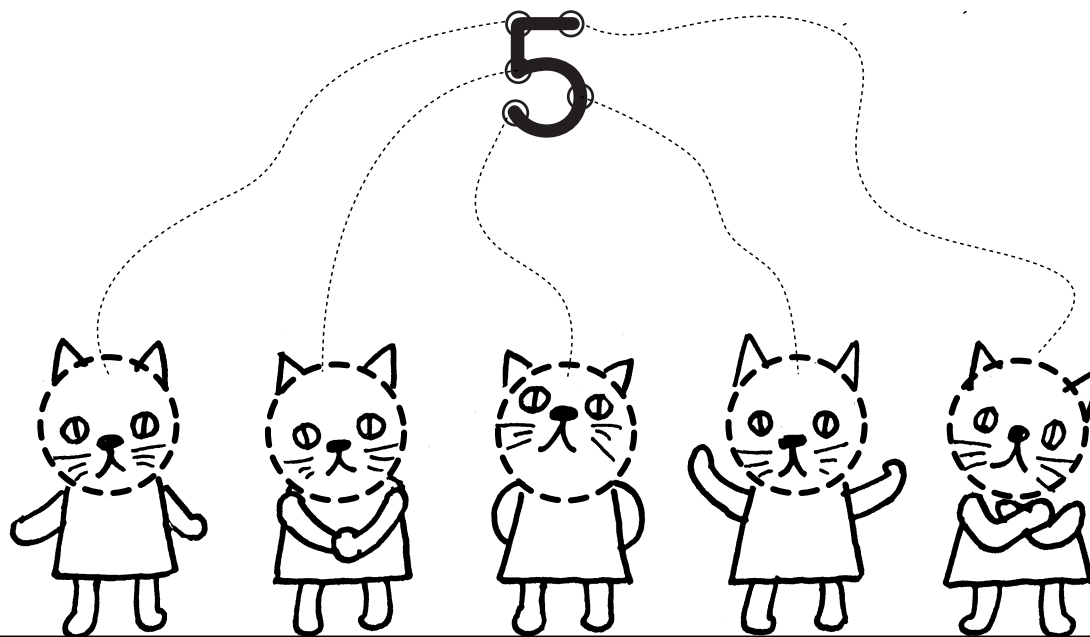


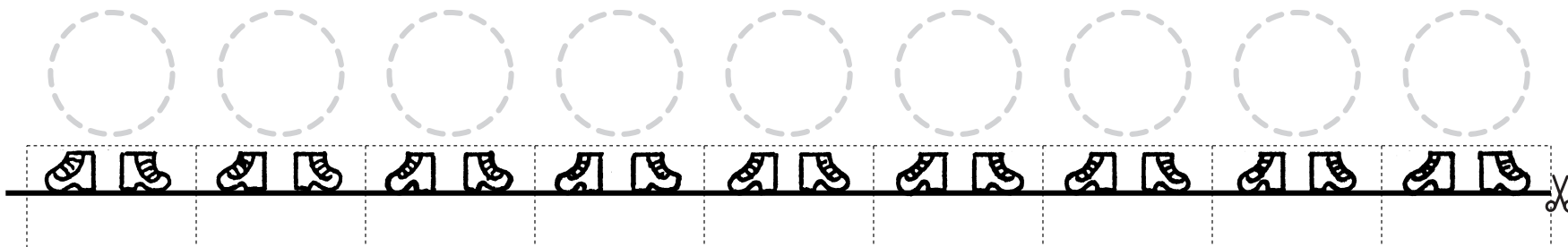
たまをつかって
あうのをさがそう。



いっつご こねこは
いっでも 5ひき。
なんでも 5こいる。
5つ いる。



たまを おいた ぶんだけ
あかく ぬって、きって、
はかせよう。



1) 子ねこは五つ子で、いつも5匹だと話す。
2) 「赤いカマがほしからってているから」と、顔に玉を置く。
3) 下のカマの上のOに移し、対応したカマだけ赤くぬる。
4) ぬったカマを子ねこに履かせるように切り貼りさせる。
ペーシスのラインを含むようにサボット。

a) 玉が計数の仲立ちをする。すなわち推移律「A=B=Cなら
A=C」の「B」の働きを玉が果たす。
b) 数の理解の基本的な原理である1対1対応と推移律をア
リミニアナ形式で体験する。
c) 和数詞「いっつご」の了解。

特定用具:不要

Date:

